



4月の園だより

令和 7年 4月 7日
新宿区立四谷子ども園
園 長

「今」を生きる子どもたちを育てるー遊びを通してー

園長

雨でスタートした今年度。新入園児が親子で登園し帰ったあとの1歳児はな組の保育室に行ってみると、進級児がそれまでのにぎやかさとは違う静けさの中で一人一人思い思いの場所で遊んでいました。私を見付けて絵本を持ってきた子に絵本を読み、そろそろ2歳児の様子を見に行こうと「じゃあまた来るね」と言うと、その子が「うー。うー」と「もっと絵本読んでよ」と言うように、私の膝に頭を乗せました。0歳児で入園した頃は、上を向いて寝ているだけだった子が、1年経ってこんなに感情が育っていることにうれしいだけでは言い表せない気持ちになりました。

入園したお子さんは年齢に関係なく新しい環境に慣れるまで時間が掛かりますし、進級した子どもたちも保育室や担任が変わり不安定になります。お子さんの不安に保護者も引きずられないよう、「きっと大丈夫」と園を信じてお子さんを登園させてください。

四谷子ども園は「遊びを通して」子どもを育てています。食べ物で体ができていくように、豊かな経験が心をつくっていくと私は考えています。親以外の大人に信頼感をもてるようにし、信頼関係を基盤に主体的に遊べるようにしていきます。保育者は、子どもの発達に合わせながら、子ども自身が自分の世界を広げ、深め、乳幼児期だからこそできる心身共にフル回転の遊びを毎日提供していきます。時には友達とのトラブル、いさかいなどもあります。それも心をつくる大事な栄養になります。子どもの成長には心配もつきものです。そのような時には「子どもを真ん中に」家庭と連携をしながら育ちを支えていけたらと思います。

今年度も「にこにこ」(心身共に健やかに)「わくわく」(好きな遊びを十分に)「きらきら」(一人一人が自己を発揮して)を合言葉に経営方針を掲げ 130 名の子どもたちの充実した園生活のため、教職員一同で力を合わせて教育・保育活動を進めてまいります。「今が全ての子どもたちの」「今生きている」そのパワーや一人一人の興味・関心を大切に、「遊びを中心とした保育」を実践して参ります。ご協力ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



ゆめ組 (0歳児)

- ・保護者や保育者と一緒に遊びながら、園の環境に慣れて安心感をもって過ごす。

はな組 (1歳児)

- ・新しい環境や保育者に慣れる。
- ・保育者と一緒に好きな遊びを見付ける。

おひさま組 (2歳児)

- ・新しい環境や担任の保育者に慣れて安心して園生活を送る。
- ・好きな遊びを見付けて保育者と一緒に遊ぶ。
- ・春の自然に触れる。

にじ組 (3歳児)

- ・新しい環境に慣れ、自分で身支度をやってみようとする。
- ・好きな遊びを見付けて保育者や友達と楽しむ。

もり・やま組 (4歳児)

- ・子ども園の様子や生活の仕方が分かり安心して過ごす。
- ・保育者や子ども園に親しみをもつ。

うみ・そら組 (5歳児)

- ・進級した喜びを感じ、遊びや生活を進めていこうとする。
- ・新しい環境に慣れ、好きな遊びを見付けたり友達と一緒に遊んだりする。